

北イタリア安全対策情報  
2020年10月～12月

1 治安情勢

- (1) 当地では邦人観光客等が極めて少ない状況が続いており、当館への被害報告はなかった。他方、報道によれば、移動制限措置が敷かれる中でも、強盗致死や強行性行等の凶悪事件が断続的に発生している。
- (2) イタリア国内でテロの発生及び未遂事案はなかった。10月から11月にかけて、隣国でテロ事件が相次いだことを受け、治安当局はテロ対策を一層強化している。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

- (1) スリ 0件 （参考：7月～9月は0件）
- (2) 置き引き 0件 （同：0件）
- (3) 車上狙い 0件 （同：2件）

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は以下のとおり。

(1) 強盗致死

12月19日（土）

午後6時頃、ミラノ中央駅付近（当館より約1.5 km）において、ナポリの開業医男性（65歳）が強盗2人組に襲われ死亡した。犯人は現場から逃走し、警察が捜査中。

(2) 強盗致傷

12月24日（木）

昼頃、ミラノ市内ガッララテゼ（当館より北西約6 km）のショッピングセンター付近において、ホームレスのガーナ人男性（28歳）が面識のないナイジェリア人女性（30歳）の頭をガラス瓶で殴打して、スマートフォンを強取。犯人は現場から逃走したが、その後警察に発見され検挙された。

(3) 監禁・強制的性交

12月25日（金）

ミラノ県隣接のヴァレーゼ県内において、犯人男性（39歳）宅に家政婦の求人として訪れた女性（43歳）が同人に拘束され、強姦された。翌26日、被害者友人の通報で臨場した警察官により、犯人は検挙された。

4 テロ・爆弾事件発生状況

11月10日（火）午後1時15分頃、ミラノ市内ニグアルダ病院地下1階放射線科待合室内において、起爆機能のない軍用ロケットランチャーが発見され、全フロアの避難措置が取られた。本件に関する犯行声明等は未確認。治安当局は、同病院に対する脅迫行為として捜査。

- 5 誘拐・脅迫事件発生状況  
特になし
- 6 対日感情の変化  
特になし。
- 7 日本企業の安全に関する諸問題  
特になし。